

月次売上情報

2025年1月期 店頭販売実績

(単位:前年比)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	上期累計
日本	日本計	103%						103%
	店舗	104%						104%
	EC	100%						100%
	日本既存店	102%						102%
	店舗	102%						102%
	EC	101%						101%
韓国	韓国計	91%						91%
	店舗	92%						92%
	EC	84%						84%
	韓国既存店	91%						91%
	店舗	92%						92%
	EC	85%						85%
合計	日本・韓国計	97%						97%
	店舗計	98%						98%
	EC計	94%						94%
	既存店計	96%						96%
	店舗計	97%						97%
	EC計	95%						95%

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	下期累計	通期累計
日本	日本計								103%
	店舗								104%
	EC								100%
	日本既存店								102%
	店舗								102%
	EC								101%
韓国	韓国計								91%
	店舗								92%
	EC								84%
	韓国既存店								91%
	店舗								92%
	EC								85%
合計	日本・韓国計								97%
	店舗計								98%
	EC計								94%
	既存店計								96%
	店舗計								97%
	EC計								95%

(1月の店頭販売概況)

日本では、冬物セール販売が苦戦したものの、主カインポートブランドのプロパー販売が好調に推移しました。「イルビゾンテ」では高単価な財布やバッグが売上を押し上げました。「A.P.C.」ではBarbourとのコラボレーション商品のほか、気温の低下も後押しとなりアウターやニットが稼働しました。また、「マリメッコ」において、新作のデニムコレクションとユニッコ柄をモチーフにしたホームカテゴリーが売上拡大に寄与した結果、1月全体では前年同月を上回って終了しました。

韓国では、月前半は商業施設への集客が増え、アウトレット店舗を中心に冬物セール販売が順調に推移しました。一方、月後半からは寒波の影響もあり、ECでは春物商品の稼働が大きく遅れたことに加え、今年は1月下旬だった旧正月期間は百貨店の営業日数が少なくなったことにより、1月全体では店舗・ECともに前年同月を下回りました。

以上の結果、1月単月の日本・韓国の合計は、前年比97%(店舗98%、EC94%)、既存店の前年比96%(店舗97%、EC95%)となりました。

- (注) 1、上記のデータは、当社グループの月次で集計可能な国内・韓国における実店舗及びオンラインショップでの販売実績(小売価格)に基づいています。
- 2、韓国における販売実績は、期中平均の為替レートを使用して円換算しています。